

# 12月議会での一般質問③



## 米原市民報

日本共産党米原市議員  
山脇正孝 Tel.52-1093  
日本共産党湖北地区議員団  
事務局藤田正雄 Tel.55-1527

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

# 新型コロナ禍での保育施設の在り方を問う

**緊急事態下で必要とされる保育の状況は**

新型コロナウイルス感染症禍で保育所・子ども園・放課後児童クラブが開設されなければ、医療、福祉、介護、保健分野などエッセンシャルワーカーの就労が保障できず、地域の医療崩壊などを招きます。保育所・子ども園・放課後児童クラブは、地域医療や住民の命と安全を守る要となっています。また、自粛に伴う補償が不十分な日本では、緊急事態下であっても働かざるを得ない層が存在します。そのような就労を保障する役割も担っています。したがって、保育機関、放課後児童クラブは、規模の縮小はありますが、緊急事態宣言が発動されても開設することを前提に準備が進められています。

そこで現在、近畿3府県に加えて、滋賀でも緊急事態宣言が視野に入っている段階となっていますが、12月定例会で再度の緊急事態を想定して、この冬までに市がしなければならぬことを質問しました。

**保育を必要とされる子どもへの把握は**

Q、万一、緊急事態になった場合、各保育所・子ども園・放課後児童クラブで保育を必要とする子どもがどの程度存在するのか、その人数を市が把握・確認する体制は整っているか。

A、保育所、認定こども園等に通う園児の保護者の就業状況のうち保護者のすべのほか警察、消防、保健分野に該当する園児の割合は1

12月2日の米原市第4回定例会での山脇議員の一般質問(3)を掲載します。

割程度であると把握しています。前回の緊急事態宣言時には、これらの職種以外であつても休暇の取得が困難な家庭や、保護者の疾病や看護等により家庭での保育が困難な場合も対象として、特別保育を実施したところ、園を利用された方は全体の2割程度ありました。また、放課後児童クラブにおいて、前回の緊急事態宣言時は、密を避けるため規模を縮小し、小学校2年生以下の児童や医療従事者、特別支援学級の児童を優先的に

お預かりしました。なお、4月、5月は不安を抱きながらも保育士や支援員は真に保育を必要とする保護者を支援するため、懸命に事業継続に努めたところです。今後、緊急事態宣言が出されたとしても、これまでの経験を活かし、安全に配慮しながら迅速に必要な対応ができるよう努めてまいります。また、園や放課後児童クラブにおいて感染者が確認されたとしても、必要最低限の臨時休業措置をとったあと、速やかに受入れ体制を整えてまいります。

Q、緊急事態下で出勤可能な保育士・支援員がどの程度存在するのか、たいてい

**緊急時出勤可能な職員の確保は**

Q、緊急事態下で出勤可能な保育士・支援員がどの程度存在するのか、たいてい

**事前の計画が必要**

るのか、市が把握・確認する体制は整っているか。A、前回の緊急事態宣言時には、公立認定こども園、幼稚園では子育て中の保育士を把握するため、直ちに出勤可能かどうかの確認をとり、保育体制を整える準備を行いました。実際には、特別保育としたことにより、利用者数が減少したため、保育士が不足する事態には、放課後児童クラブにおいて、受入れ対象児童を限定したため、支援員が不足することはありませんでした。今後、緊急事態宣言が出されたとしても、運営の継続に必要な保育士や支援員の確保については、速やかに把握できるものと考えております。

### 雑感

1月10日ルツチプラザで開催された成人式にお祝いを兼ねて宣伝活動を行いました。新型コロナウイルス禍の中、密を避けることから2部制で開催されました。この様な時期、未来に生きる新成人に若者として政治の革新へ立ちあがることを訴えました。また困難な中、開催された関係者に敬意を表しました。本年は選挙年。国民の命と暮らしを守る政治に変えましょう。

